

ミナフォルティス CX

ミナフォルティス CX は空港向けポリマー改質アスファルトのプレミックスバインダーです。

従来技術とは異なり非常に高い耐水性を有しているため、水による損傷を抑制し、舗装の長寿命化に貢献します。

主な適用箇所

- ✓ 空港で長寿命性が求められる箇所
- ✓ 空港で耐水性が求められる箇所

製品性能と特長

✓ 優れた耐水性

アスファルトの強度・粘度を高める従来の耐水性技術とは異なり、骨材とアスファルトの結合を強固にさせることで耐水性を高めています。

✓ 優れた塑性変形抵抗性

ポリマー改質アスファルトⅡ型に比べ、軟化点やタフネス・テナシティが高く、塑性変形抵抗性に優れます。わだち掘れを抑制します。

✓ 優れた施工性

耐水性と塑性変形抵抗性を向上した製品ですが、施工性改善型ポリマー改質アスファルトの技術も取り入れたため、従来と変わらない施工性を維持しています。

✓ 優れた貯蔵安定性

専用のアスファルトと厳選した添加剤配合技術により、アスファルトとポリマーが分離しにくく、安定した混合物性能を発揮します。

一般性状*

| 項目 | 単位 | ミナフォルティス CX |
|--------------|-------------------|-------------|
| 軟化点 | ℃ | 94.5 |
| 伸度 (15℃) | cm | 100+ |
| タフネス (25℃) | N・m | 50.8 |
| テナシティ (25℃) | N・m | 40.4 |
| 粗骨材のはく離面積率 | % | 0 |
| 針入度 (25℃) | 1/10 mm | 41 |
| 薄膜加熱質量変化率 | % | -0.02 |
| 薄膜加熱後の針入度残留率 | % | 73.2 |
| 引火点 | ℃ | 350 |
| 密度 (15℃) | g/cm ³ | 1.035 |
| 推奨混合温度 | ℃ | 170~185 |
| 推奨締固め温度 | ℃ | 160~170 |

* 一般性状は製造時の許容差異を含んだ代表値です。製品の改善のため、予告なく変更する場合があります。

販売荷姿：アスファルトローリー

使用上の留意点

ご使用にあたっては、事前に安全データシートを（SDS）をご覧ください。

| | |
|--------|---|
| 取扱上の注意 | 貯蔵温度は 180℃以下とし、貯蔵期間は 1 週間を超えないように注意してください。 貯蔵や溶融時にヒーターやバーナー等による局部加熱を受けるとアスファルトバインダーが変質する恐れがあります。 |
| 安全上の注意 | 溶融したアスファルトに触れるとやけどを負う恐れがあります。作業時は作業着、保護面、保護眼鏡、保護手袋、その他 保護具を着用してください。溶融したアスファルトの蒸気を吸引すると気分が悪くなる恐れがあります。室内でアスファルトを加熱する場合はマスク等を着用し、換気を行ってください。溶融したアスファルトに水を近づけないでください。溶融したアスファルトが飛び散り、やけどを負う可能性があります。溶融したアスファルトは引火する可能性があります。着火源を近づけず、万が一着火した場合、粉末または炭酸ガス消火器を使用してください。 |

本資料は事業者様向けに作成されたものです。本資料に掲載された技術情報は弊社で確認した代表的動作を説明するものです。

お問い合わせ

出光興産株式会社 先進マテリアルカンパニー 機能舗装材事業部

アスファルト販売課（東日本） 03-6870-6587

アスファルト販売課（西日本） 06-7711-1271

受付時間 9:00~17:30

土・日・祝祭日、12月29日~1月3日、5月1日、6月20日（当日が日曜日の場合は翌営業日が振替休業日）を除く